

第75期中間報告書

平成25年1月1日から平成25年6月30日まで

CONTENTS

財務ハイライト(連結)―――――	—— 1
ごあいさつ ――――	2
事業の部門別状況	<u> </u>
連結財務諸表	5
会社の概況	— e
株式のご案内	裏表細

財務ハイライト(連結)







経 営 方 針

企業品質向上を目指して 社会人として思いやりを持った人格の形成 世界から尊敬と信頼を受ける企業と人

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、 厚くお礼申しあげます。

第75期中間期(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)のご報告にあたり、ごあいさつ申しあげます。

当中間期の世界経済は、米国では住宅市場の改善や個人消費の拡大など、他の先進国に先がけて回復が進みましたが、欧州では厳しい状況が続きました。国内経済は、金融政策や経済対策の効果、輸出環境の改善などを背景に、景気は持ち直しの動きが見られました。為替は、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円安で推移しました。

このような中で当社グループは、シャッターユニット、ドキュメントスキャナー等の積極的な販売活動を展開するとともに、セキュリティソフトの新製品「SML セキュリティスイート」や、接着剤の射出成形により製品の防水・防塵加工を可能にした小型電動射出成形機[LS-300i]等の販売に注力してきました。また、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R(リデュース・リユース・リサイクル)環境活動を全社員で強力に推し進めてまいりました。さらに、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は488億3百万円(前年同期比8.8%減)となりましたが、連結経常利益は61億5百万円(同5.4%増)、連結純利益は43億35百万円(同20.7%増)と増加しました。

中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするために、1株につき30円とし、お支払い開始日を8月27日といたしました。

今後も高機能、高品質、低コストな商品・サービス を展開し、新たなビジネスを創出してまいります。ま た、強固な企業体質を実現するため、全社員の力を結 集し徹底的なムダ排除、更なる生産性の向上、売上の 拡大に取り組んでいく所存です。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成25年8月

代表取締役社長

酒卷久



コンポーネント部門

デジタルカメラ市場は、レンズ交換式タイプは伸びていますが、コンパクトタイプは縮小しています。このような中で、レンズ交換式タイプでは、シャッターユニット、防振ユニット、交換レンズ用絞りユニット共に堅調に推移しました。一方、コ



レンズ交換式デジタルカメラ用 シャッターユニット

ンパクトデジタルカメラ用シャッターユニットおよびビデオカメラ用絞りユニットは、スマートフォンの普及による市場縮小の影響等を受け、売上は減少しました。



レーザープリンターおよびデジタル複合機用のレーザースキャナーユニットは、生産性の向上、 構成部品の内製化等、生産体制強化を積極的に推し進め、原価低減に取り組みました。事務機用 精密加工部品においても、生産性の向上に積極的に取り組みました。

当部門の連結売上高は263億83百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

電子情報機器部門

ドキュメントスキャナー市場は、文書の電子化需要の増加により拡大傾向にあり、特に低価格・コンパクトタイプの需要が増加しています。このような中で、ドキュメントスキャナーimageFORMULAシリーズは、2月に高速スキャンが可能な高耐久タ



imageFORMURA DR-G1130

イプの新製品「DR-G1130/G1100」を発売し、 デスクトップタイプの「DR-P208」、コンパクト タイプの「DR-M140/M160」と併せて積極的



な拡販活動を展開し、売上を伸ばしました。また、チェックスキャナー (小切手読取用スキャナー) は北米市場に加えアジア市場での需要も高まり、販売台数が増加しました。

ハンディターミナル市場は、スマートフォンやタブレット端末の使用の増加により、新たな市場へのビジネスチャンスが広がりつつあります。このような中で、昨年発売した大画面モバイル情報端末「プレアDX-360」、電子マネーやクレジットカードの決済機能を搭載した「プレアAT-3300/3700」、通話や高速大容量データの送受信が可能な「プレアAT-100」等のラインアップによる積極的な拡販活動を展開した結果、売上を伸ばしました。



プレア DX-360

レーザープリンターは、受注確保に向けて、効率的な部品調達、生産性の向上等に取り組むとともに、品質強化に一層努めました。

当部門の連結売上高は170億22百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

その他の部門

情報関連事業は、情報システム投資が伸び悩む中で、業務分析サービス(ログマネジメント)、情報セキュリティ対策サービス(SML)、名刺管理サービス(アルテマブルー)、顧客情報管理サービス(CRM)等の受注活動を積極的に展開しました。また、新製品として、企業の情報資産を守るセキュリティソフト「SML セキュリティスイート」を1月より販売し、拡販を行いました。また、サーバーの導入やネットワーク構築等のシステム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、金融機関向け情報系システム(entrance Banking)、学校法人向け教務管理システム(SCHOOL AID)、医療機関向け用語辞書「医用辞書」等のパッケージソフトウェアの販売に注力しました。



小型電動射出成形機 「LS-300il







環境機器事業は、小型電動射出成形機「LS-300i」、小型三次

元加工機「MF-150A」および業務用生ごみ処理機「Land care16 II」を主力商品として積極的な販売活動を展開しました。 特に、接着剤の射出成形により製品の防水・防塵加工を可能にした小型電動射出成形機は、医療業界や自動車業界など、新たな業界からの引き合いが増加しました。

精密機器事業は、受注が減少し、厳しい状況で推移しました。

当部門の連結売上高は53億97百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

連結財務諸表

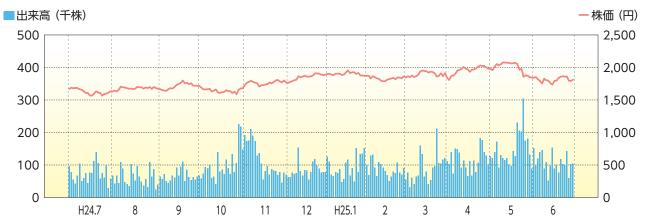
中間連結貸借対照表(要旨)(平成25年6月30日現在)

		単位・日万円
科目	当中間期	前期 (ご参考)
(資産の部)		
流動資産	(56,453)	(51,903)
固 定 資 産	(39,373)	(39,157)
有 形 固 定 資 産	35,056	34,275
無形固定資産	967	1,026
投資その他の資産	3,348	3,855
資 産 合 計	95,826	91,061
(負債の部)		
流 動 負 債	(21,424)	(20,019)
固定負債	(2,560)	(2,839)
負 債 合 計	23,984	22,858
(純資産の部)		
株 主 資 本	(71,389)	(68,302)
資 本 金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利 益 剰 余 金	57,896	54,808
自 己 株 式	△ 1,071	△ 1,070
その他の包括利益累計額	(180)	(\triangle 375)
その他有価証券評価差額金	99	89
為替換算調整勘定	81	△ 464
新 株 予 約 権	(225)	(235)
少数株主持分	(47)	(40)
純 資 産 合 計	71,842	68,202
負債及び純資産合計	95,826	91,061

中間連結損益計算書(要旨)(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)

		単位:百万円
科目	当中間期	前年同期 (ご参考)
売 上 高	48,803	53,509
売 上 原 価	38,132	42,972
売 上 総 利 益	10,670	10,536
販売費及び一般管理費	5,256	5,136
営 業 利 益	5,414	5,400
営 業 外 収 益	693	397
営 業 外 費 用	1	3
経 常 利 益	6,105	5,794
特別利益	724	42
特別損失	1	201
税金等調整前中間純利益	6,829	5,635
法人税、住民税及び事業税	2,405	2,079
法人税等調整額	80	△ 40
少数株主利益	6	4
中間純利益	4,335	3,592

■ 株価 (終値) および出来高の推移 (平成24年7月~平成25年6月)



会社の概況(平成25年6月30日現在)

主要な事業内容

部門	主 要 製 品		
コンポーネント部門	シャッターユニット、絞りユニット、ステッピングモーター、磁気ヘッド、磁気センサー、 レーザースキャナーユニット、プリント基板実装		
電子情報機器部門	ドキュメントスキャナー、ハンディターミナル、レーザープリンター		
その他の部門	業務分析サービス、情報セキュリティ対策サービス、名刺管理サービス、 顧客情報管理サービス、システム開発・保守・運用、FA機器、環境関連機器、 小型電動射出成形機、小型三次元加工機		

■使用人の状況

使用人数(連結)	前期末比増減	使用人数(単独)	前期末比増減	
5,542 ^名	-531 ^名	1,801名	-1 名	

発行可能株式総数

60,000,000株

■ 発行済株式総数

42,206,540株

■株主数

20,071名

■ 大株主 (10名)

株 主 名	持株数	持株比率
キ ヤ ノ ン 株 式 会 社	22,500千株	54.1%
ビーエヌピー パリバ セック サービス ルクセンブルグ ジャスデック アバディーン グローバル クライアント アセッツ	1,172	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託□)	1,152	2.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	733	1.8
第一生命保険株式会社	414	1.0
キャノン電子従業員持株会	243	0.6
株式会社みずほコーポレート銀行	234	0.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託□9)	230	0.6
みずほ信託銀行株式会社	201	0.5
ジェーピー モルガン チェース バンク 385093	164	0.4

注 1. 株式会社みずほコーポレート銀行は、本年7月1日をもって株式会社みずほ銀行と合併し、 株式会社みずほ銀行となりました。

■取締役および監査役

地	位			氏	名	
代表取	締役社	長	酒	巻		久
取締行	殳副 社	長	橋	元		健
専 務	取締	役	江	原	孝	志
常務	取締	役	石	塚		巧
取	締	役	大	谷	_	夫
取	締	役	常	藤	恭	司
取	締	役	内	Ш		毅
取	締	役	黒	澤		明
取	締	役	新	井		忠
取	締	役	周		耀	民
取	締	役	Ш	下	芳	生
取	締	役	高	橋	純	_
取	締	役	清	水	栄	_
常勤	監査	役	Ш	名	達	也
常勤	監 査	役	後	藤	良	秋
監	查	役	恩	\blacksquare	俊	=
監	查	役	渡	辺	和	紀

■ 会計監査人新日本有限責任監査法人

注 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (606,339株) を控除して算出しております。

株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

 上記基準日
 毎年12月31日

 中間配当基準日
 毎年6月30日

 期末配当基準日
 毎年12月31日

株主名簿管理人 および 東京都中央区八重洲一丁月2番1号

特別口座 口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

株式事務のお問合せ先 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の振込指定等のお手続きは、株主様が口座を

開設されている証券会社等にお問合せください。

未払い配当金のお支払い手続き、または特別口座に記録された株式に関するお手続きは、下

記みずほ信託銀行にお問合せください。

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁月8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

単元株式数 100株

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部

証券コード 7739



表紙写真

撮影 山岳写真家 新井靖雄氏 (秩父市在住) 昭和21年埼玉県秩父市生まれ 環境省自然保護指導員 奥秩父をテーマにした山岳写真の撮影を続けている 山岳写真集「奥秩父の四季」、 新井靖雄写真集「奥秩父」を出版

CallOll キヤノン電子株式会社

本 社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地 電話 0494-23-3111

東京本社

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番10号 電話 03-6910-4111

インターネットホームページ http://www.canon-elec.co.jp/